

外壁・屋根塗装を失敗しないための
知っておくべきこと3選

お住まいの塗り替えを ご検討の方に、 はじめに お伝えしたいことがあります。



平成21年6月に「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が施行され、日本の住まいの考え方は「30年程度で建て替える住まい」から「長く大切に使う住まい」へ大きくシフトしました。

長く大切に住まいを使うために、定期的なメンテナンスについての考えが見直されています。

今回の主題である「塗装」も、住まいにとって重要なメンテナンスの一つです。塗装でいうと「美観」にばかりに注目が集まりますが、雨風や紫外線などの外部環境から住まいをまもるための「保護」がとても大切です。塗装の耐久性を考えると、保護の役割を持続させるには、およそ8～12年の周期での塗り替えが必要です。塗装をする上で重要となるのは、消費者自身が正しい判断ができるだけの知識を備えることです。

残念ながら、消費者が知識がないがゆえに起きてしまったトラブルは跡を絶ちません。

今回は、「消費者が備えておくべき知識」を、わかりやすく噛み砕いてご紹介してまいります。

まえがき

第1章

塗り替えのタイミングを正しく見極める

第2章

信頼できる塗装業者の見つけ方

第3章

塗装業者と契約する前に知っておきたい情報

あとがき

外壁塗装をするならプロタイムズ

【第1章】

塗り替えのタイミングを 正しく見極める

塗り替えの“ベストタイミングはいつなのか”は多くの方が迷われるポイントです。この章では、外壁をまもり、美しさを保つためにいつ塗り替えをすればよいのかという目線で、オススメのタイミングをお伝えします。



塗り替えのタイミング① 汚れや色あせが気になったとき

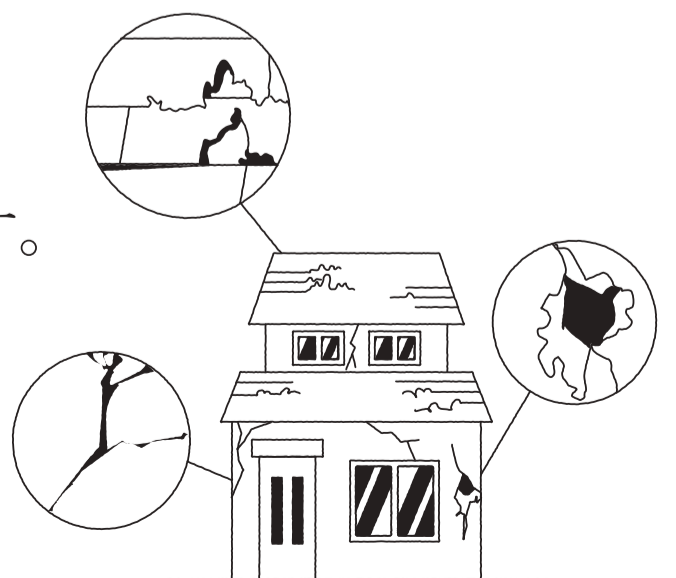
塗装をする際、これまでと異なる色の塗料を選べば、住まいがキレイになるだけでなく、住まいのイメージチェンジを図ることも可能です。



塗り替えのタイミング② 塗装の「保護」機能が失われかけているとき

屋根や外壁を覆っている塗料は、時間の経過とともに劣化が進行します。ある一定以上まで進行すると劣化の症状として表れ、目で見えてわかるような「ひび割れ」「塗膜（塗装後にできる塗料の膜）の剥がれ」につながります。

劣化の度合いをチェックすることで、塗装タイミングなのかを図ることができます。



【第2章】

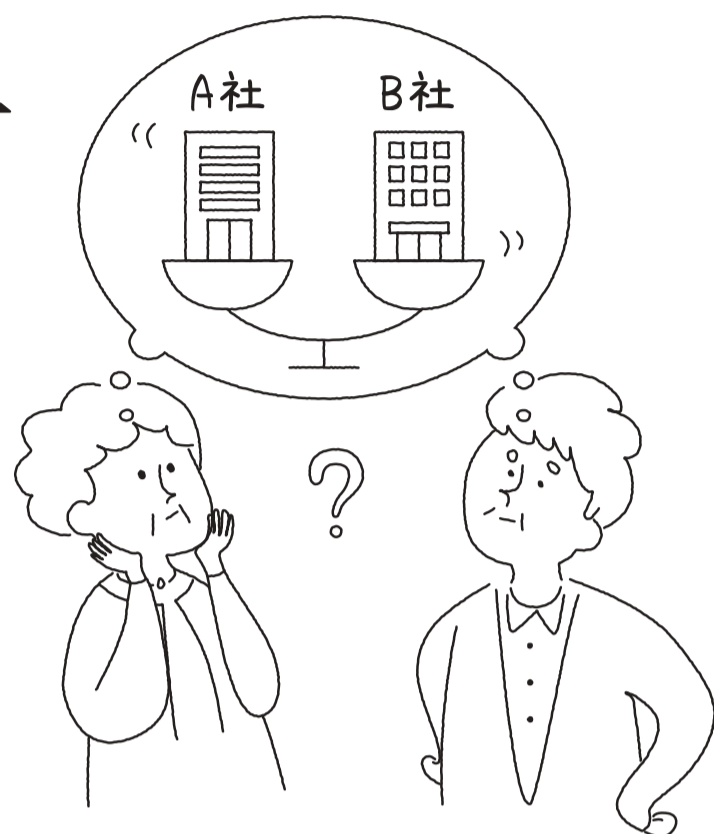
信頼できる

塗装業者の見つけ方

納得がいく塗装ができるかは、業者選びにかかっているといっても過言ではありません。

「塗装」は完成したものを見比べて購入するものではなく、きつこの業者なら素晴らしい塗装をしてくれるだろうという期待のもとに決断をくだすことになります。

この章では、信頼できる塗装業者を見つけるためにはどうすればよいかを説明していきます。



STEP1. 塗装業者の情報を集める

世の中には多くの情報があり、何から探してよいかわからないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

こちらでは、まず候補となる業者を探す手段についてお伝えします。



近隣住民や知人からの口コミ

情報の出所が明らかのため、より信頼できる情報が入手できます。周りに塗装工事をした近隣住民や知人がいる場合には、ぜひ話を聞いてみましょう。



チラシや新聞広告

地元に基づいた営業活動をしている塗装業者の情報を得るなら、チラシや新聞広告がおすすです。キャンペーンなどの季節ごとの情報が掲載されていることもあるので、定期的にチェックすることをおすすめします。



インターネット

一番カンタンな方法はインターネットでしょう。

「塗装」と「地名」のキーワードで検索するだけでも、さまざまな塗装業者の情報が入手できます。

STEP1. 塗装業者をリサーチする際のポイント

塗装業者の情報をリサーチする際には、業者が伝えるアピールポイントだけでなく、下記のようなポイントも合わせてチェックしておきましょう。



✓所在地が近くにあるか

所在地が県外など遠方にある業者は避けたほうが賢明です。遠方の業者が悪いということではなく、なにかあったときにすぐに駆けつけられないことがあるためです。

✓塗装工事の実績が豊富にあるか

施工実績が豊富にある塗装業者のほうが塗装提案の幅も広く、技術力も長けている可能性が高いためより安心です。

✓口コミでの評価はどうか

実際に工事をした人からの口コミからは、参考になる情報が豊富に入手できます。

選んだ理由や工事中の評価など知りたい情報がギュッと詰まっています。

◎安心感で考えれば、一人親方よりも会社組織

塗装業者は一人で経営・塗装をしている一人親方の業者も存在します。凄腕の一人親方に仕事を依頼するという選択肢もありますが、なにかあったときの対応力を考えると会社組織がより安心です。工事後の保証やアフターフォローも、会社組織の方が整っていることは間違いありません。

STEP3. 塗装業者を選ぶ

最後に、塗装業者を選ぶ段階に入ります。実際に業者を選ぶ際には何を基準に選べばいいか分からなくなってしまうことがあります。この章では、信頼できる1社を選ぶために押さえておきたいポイントを紹介します。

✓資格をもった専門家が対応してくれているか？

見積りをお願いするとまずは住まいの診断を受けることとなりますが、その担当者が専門資格をもったプロであることが望ましいでしょう。



<専門資格>

外装劣化調査診断士・外壁診断士・建築士 など

✓適正な見積書を提示してくれているか？

見積書には信頼できる業者かの判断材料がたくさん詰まっています。

そこで見積書を提示されたときには、以下のポイントをチェックしてみましょう。

(1) 見積書に記載された塗装面積は正確か？

外壁や屋根の施工面積の正確性を確認しましょう。現場で計測しない業者は、正確な施工面積の計測ができていない可能性があるため、施工面積の計測方法を確認しましょう。

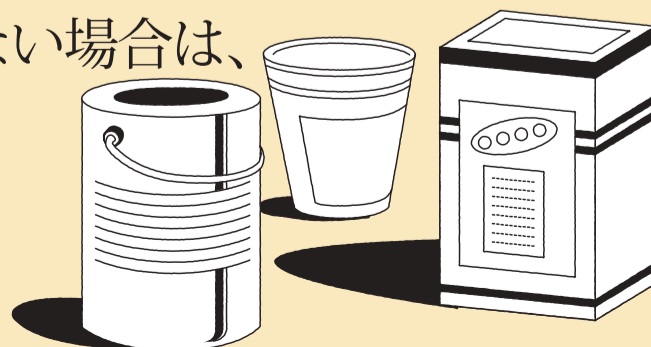
(2) 見積書に「材料費(塗料代)」と「工事費」 が分けて掲載されているか？

材料(塗料)費と工事費が一緒になっている「材工一式」の見積書を提示された場合は、業者に分けてもらうように依頼しましょう。



(3) 見積書に記載されている塗料の量が適正数値になっているか？

塗料メーカーが規定する量はホームページやパンフレットで確認しましょう。適正数値かどうかわからない場合は、業者に確認するのも一つの手です。



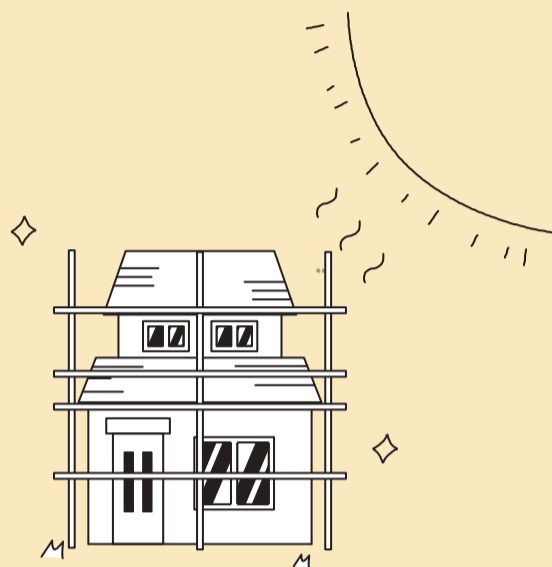
STEP3. 塗装業者を選ぶ

✓ 工事品質が担保されているか？

「工事品質」というと、実際に工事が始まってからでないと判断できないと思いがちですが、契約前でもチェックすることができます。

- (1) 塗料メーカーの規定した乾燥時間確保した工事工程になっている
下塗り、中塗り、上塗りなどの塗装時に
塗料メーカーが指定している乾燥時間を
確保した工事工程になっているかチェック
しましょう。

この時間が確保されていないと、不具合に
つながる可能性があります。



- (2) 安全管理についての意識をもっている
万が一、事故が発生した場合、工事が中断するといった物理的な
問題だけでなく、精神的な被害を受ける可能性もあります。
「足場の設置」や「ヘルメットの着用」など安全管理に対する意識
を確認することをおすすめします。

✓ 塗装後の保証体制がととのっているか？

契約前に保証体制を確認しておくことは重要です。そもそも、塗装工事
などのリフォーム工事には、新築工事とは異なり、保証には法的な義務
がありません。保証があるか、またその保証内容は安心できるものか
といったことも契約前にチェックしておきましょう。

- (1) 保証があり、かつ保証内容が明確かどうか
そもそも保証が存在する場合は、“なにを、
どこまで保証してくれるのか”といった
内容を確認しましょう。また、保証は口
約束ではなく保証書として書面で発行
されるかも重要です。



- (2) 契約会社が発行する保証以外の保証制度がある
保証体制として、「リフォーム瑕疵保険」や「第三者の工事保証」
など保証の備えがあるかまで確認しておく
と安心です。

<プロタイムズのW工事保証とは？>

プロタイムズの加盟店に工事を依頼すると、アステックペイントと
いう塗料メーカーが運営するプロタイムズ本部の工事保証の発行を
ダブルで受けることができるので安心です。

STEP3. 塗装業者を選ぶ

✓正しい契約書を書面で提示してくれるか？

信頼できる業者を選んだら、契約を交わす段階になります。契約を交わすタイミングでも業者選びのポイントがありますので、最後にチェックしておきましょう。

(1) 契約書には契約内容が明記されているか

塗装工事の契約は必ず、契約書として書面で取り交わしましょう。その内容には、工事金額や工事内訳などの契約内容が明記されていることが重要です。些細なことでも約束ごとはすべて契約書で取り交わすというのが原則です。



(2) 契約書には特定商取引法に基づいた内容になっているか

契約書の記載が、特定商取引法に基づいた内容になっているかも確認しましょう。具体的には、工事に関する取り決めを定めた約款があり、かつ契約書面を受け取ってから8日以内であれば契約の取り消しや解約が可能となるクーリングオフ制度についての記載がなければなりません。



(3) 契約について対面での説明があるか

契約書については、すべての項目について業者から説明を受ける必要があります。認識のズレが生じないためにも、必ず口頭で説明を受け、不明点は解消しておくようにしましょう。



【第3章】

塗装業者と契約する前に

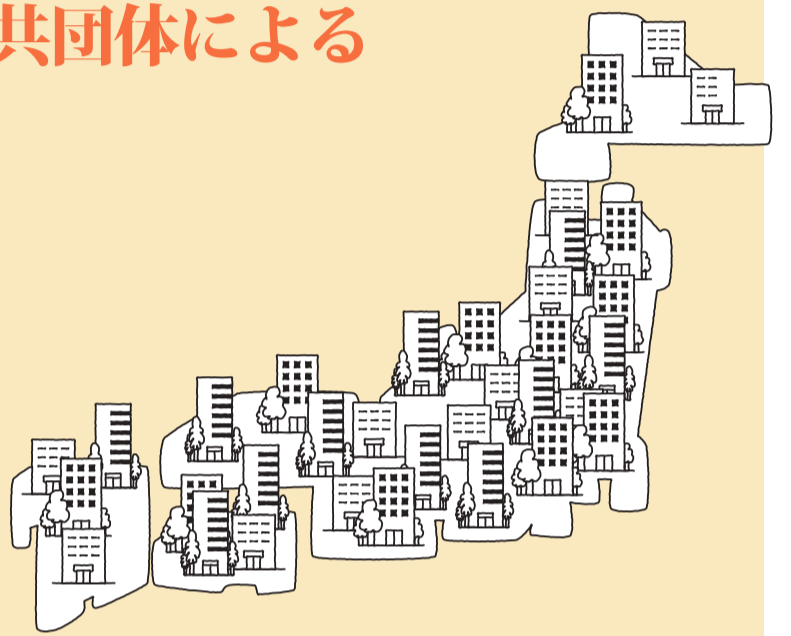
知っておきたい情報

◎塗装工事に利用できる地方公共団体による住宅リフォーム支援制度

塗装工事をはじめるとあって、チェックしておきたいのが各地方公共団体を実施する住宅リフォーム支援制度。

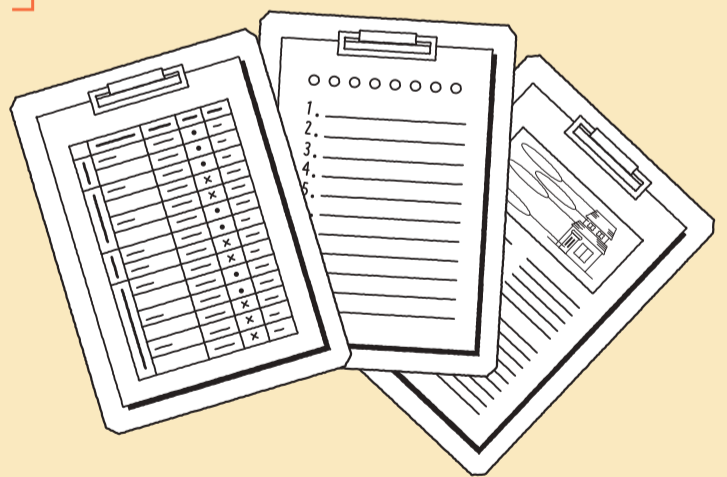
支援対象の工事に塗装工事が含まれる場合、支援金などの

補助が受けられることがあります。詳しくは、各地方公共団体（都道府県、市区町村）のホームページ等をご確認ください。



◎住まいを長持ちさせるために必要な「住宅履歴情報（いえかるて）」

「住宅履歴情報（いえかるて）」とは、住まいを長く大切にするために、必要不可欠な情報、具体的には、住宅の設計・施工・維持管理・権利・資産などに関する情報です。



この情報を情報サービス機関に情報の更新・保管を依頼することができます。このサービスが提供できる業者かどうかぜひチェックしてみましょう。



今後、消費者には
より一層、
信頼できる業者を
「見抜く力」が求められます。

近年の住宅リフォーム市場の拡大に伴い、塗装市場にも、総合リフォーム会社やホームセンターなどさまざまな業態の業者が参入しています。つまり、これからの消費者はますます多くの選択肢から信頼できる一社を選ぶことになるため、業者を「見抜く力」が重要になります。今回は、これだけは知っておいていただきたいポイントをお伝えしました。

信頼できる業者選びのために、活用いただき、安心できる塗装工事を成功させてください。



安心できる業者を選ぶなら プロタイムズ

プロタイムズは、全国200店舗を越える塗装店が所属する塗装のプロフェッショナル集団です。

高い工事品質を誇り、「社会に誇れる塗装工事を約束する」というミッションを掲げて活動しています。

プロタイムズの塗装工事が安心できる7つの理由

1. 有資格者（外装劣化診断士）が建物を診断します
2. 正確な塗装面積の算出と詳細な診断報告書を提出します
3. 材料と工事費用を明確に見積りに記載します
4. 工事の工程をすべて記録します
5. 見積りに記載した塗料と使用缶数をチェックし、写真にてお客様に提示します
6. 工事に関するすべての資料は工事後にまとめて提出します
7. 塗装店もプロタイムズの本部もそれぞれに保証を行います



全国展開の住宅塗装ネットワークの中で **3部門で1位獲得**



※全国展開住宅塗装ネットワークに関する調査の実績
※実査委託先：日本マーケティング・リサーチ機構 調査概要：2020年2月期